

『信頼と愛とで築く地域医療』

『思いやりで支える地域福祉』



尚寿会・尚栄会近所探訪シリーズ 第5弾

気さくなマスターが作る フレンチ仕込みのメンチカツ メンチ屋大橋さん



今回ご紹介するのは狭山市堀兼にある「メンチ屋大橋」さん。マスターの大橋さんは営業時代に知り合った、栃木県佐野市にあるフレンチの名店「クレシエント」のオーナーの沼岡シェフのお誘いを受けて、この狭山の地にメンチカツ屋を開業した。異色の経歴の持ち主です。

マスターの気さくな明るいお人柄に出迎えられ「話よりもまず先に」と早速、揚げたての美味しい香りのするメンチカツをいただきます。珍しい丸い形をしており、一口いただと、薄い衣からすぐにサクサクとした玉ねぎの食感と甘さ、お肉の美味しさがじゅわっと口の中に広がります。味はしっかりとついてるのでソース無しでも充分美味しく、玉ねぎが多く入っているのでもさっぱりとしており、何個でもいただけそうです！

マスターにこだわりのポイントを伺いました。このレシピは沼岡シェフのもので、肉より玉ねぎの方が多く、丸い形をしたフレンチ仕様になっていることが特徴だそうです。マスターは、「玉ねぎが多いと味がごまかせず、品種などの些細な変化で味が崩れやすく、同じ味を維持して提供し続けることが大変です」と話されていました。「とにかく美味しいものを食べてもらいたい」と掲げる油を変えたり、配合を変えたりと、日々研究を重ね努力を惜しまないマスターの姿勢に感銘を受けました。

開店しているのは、木金土日のみ。営業時間は11時～18時半までですが、早い時では、18時半を待たず売り切れることもあるので、今日は絶対に食べたい！そんな時は電話予約がおすすめです。揚げたてのメンチカツがいただけます。サイドメニューにこれまた美味しいほくほくのフライドポテトもあります。冷めてしまった時は、オープントースターなどで温めなおすとおいしくいただけます。

店舗は、茶つみ通り沿いにあり堀兼公民館の向かいです。駐車スペースもありますが、ドライブル形式で受け取られる方もいるそうです。

マスターとお話していると、人との繋がりや関わりをとても大切にしている様子が伝わり、人情味あるお人柄に、会話が弾み、初めて伺ったのにも関わらず常連さんのような気持ちになりました。是非皆さんにも、この美味しいメンチカツとマスターのお人柄に触れていただきたいです！

メンチ屋 大橋

住所 狭山市堀兼 1193
電話 090-5213-8653
営業時間 木金土日 11:00 ~ 18:30
価格 1個 100円 / 6個 500円
アクセス 新狭山駅から約2.1km
狭山市駅から約3.2km
堀兼公民館向かい



尽きることない明るい光ある将来のために

～ 2024年尚寿会グループの展望～

通所リハビリテーション「愛」家族体験会開催

尚寿会「ひとコト」紹介 ウクレレクラブ / 荷物の受け取りが便利に！ Amazon ロッカー

オレンジカフェのどか

～あさひ病院主催の認知症カフェでこころ温まるひとときを～

ご近所探訪・第5弾 メンチ屋 大橋さん

編集後記

年が明けたばかりの元日に能登半島において大規模な地震と津波が発生しました。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

また日頃より尚寿会広報誌「しんあい」をお読みいただきありがとうございます。今号より新しく 尚寿会の「ひとコト」紹介コーナーをスタートさせました。尚寿会で働く人や実施しているコトなど、面白い特技やすごい技術・活動・人・コトを紹介できればと思っています。職員からの情報もお待ちしています。 (編集長 なみ)

ご自宅にある布・毛糸などを募集します

患者様の作業活動で使わせていただきます。特に綿の布(柄は問いません)、キルティング、毛糸(並太以上の太さ)を募集しています。何かご不明な点がありましたら下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【お問い合わせ先】
あさひ病院リハビリ科 TEL 04-2957-1010

尽きることない明るい光ある将来のために

2024年 尚寿会グループの展望

尚寿会グループ理事長 寶積 英彦



ました。
 なお、施設ハード面に関しては、創立より45年を迎えた大生病院A棟の老朽化は否めません。現在本棟は大生病院B棟とあさひ病院に挟まれる形(川の字の中心)で存在しております。近い将来(5年以内を目安)に、本A棟を両病院が物理的にも繋がる架け橋として建て替え・開発を行う事により、両病院で必要とされる機能を同部一カ所に集約する事が可能と考えております。

ただし、本開発には両病院に隣接する道路の整備、幅の拡張が必要となって参ります。そのためには、多くの地域在住の皆様のご理解・ご賛同を得ていかなければなりません。

本年6月1日に両病院は統合致します。物理的なハード構築に先行し、人的・組織的なソフトの統合を優先して行います。全ての部門が統合することにより、職員同士の結びつきがさらに高まり大きなシナジー(相乗)効果を得ることが出来ます。結果的に診療

の入り口は一本化され、受診の近接性が向上します。かつ現状よりも幅広い対応が可能となり、地域医療にさらなる貢献が可能となります。

尽きることのない明るい光のある将来のために、地域の慢性期医療体制の充実に全力で取り組んで参ります。なお統合に際しましては、病院名を「**狭山尚寿会病院**」に改め、新たな歴史をスタートして参ります。

眼前の厳しい環境下であるこの超高齢社会において、組織力の充実に何らかの時間を有するかもしれませんが、先ずは病院としての外来・入院体制を整え、後に在宅医療・介護・看護、そして福祉の更なる充実体制の再構築に取り組んで参ります。

本年も職員一同、一丸となり一生懸命に「凡事徹底」をして参ります。何卒、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年も地域の皆様にとつて、新しい目標を掲げ、実現していく飛躍の年となりますことを祈念いたします。



早いもので2024年も如月に入りました。例年と比較しても暖かな陽気が感じられるようになりました。

年始に発生した能登半島震災におきましては、非常に多くの方々が無事なままに済んだ。現在も大変なご苦労を余儀なくされております。心からお悔やみを申し上げます。心からお悔やみを申し上げます。一日でも早い復興を祈念させて頂きます。私共も微力ではございますが、自身たちで行える支援を継続して参りたいと思っております。

本年は、当法人グループの近未来像を記させて頂きたく存じます。

私たち尚寿会グループは、大生病院を起源に昭和54年(1979年)2月に開設して以来、44年間にわたり埼玉県西部医療圏域におきまして地域の回復期から慢性期医療に尽力して参りました。そして、地域在住の皆様・狭山市・地域医師会の先生方のご指導のもと、本年の2月で創立45年を迎えることができました。平成16年(2004年)には、認知症診療を中心と

した、あさひ病院を開設致しました。同病院は平成27年(2015年)に本医療圏域における認知症疾患医療センターの指定を拝命致し、以降、地域医療体制の充実に全力で取り組んで参りました。

大生病院とあさひ病院は東西方向に隣接しており、共に心療内科・老年精神(認知症)科の標ぼう科目を掲げ、認知症患者様の診療を中心に医療相談から外来・入院の受入れを行って参りました。

しかしながら、両病院の精神科診療領域には明確な機能の相違が無いことより、ご家族様・近隣医療機関の皆様からの紹介時には、どちらの医療機関を受診したら良いのかと戸惑いの声も聞こえておりました。また両病院には、医局・看護部・介護部・リハビリテーション科・薬剤科・栄養科・各種検査科はもとより、医療相談部門及び事務部門が全て別々に存在しております。そのため、少子高齢化・生産人口減少社会の中で非効率的な運営を余儀なくされてお

尚寿会の「ひとこと」紹介コーナー♪

こんにちは！ウクレレフレンズです

“ウクレレやってみたいな…”との職員の一言から始まり、現在延べ11名の部署を越えたメンバーが2年前より活動しています。月2回ほど業務終了後に集まって、指ならしやコード練習、ソロ弾きとゆっくり段階を踏んで、最近ではアンサンブルにも挑戦しています。楽曲は唱歌やハワイアン、ポップス等さまざまです。リードするのは自身もウクレレ教室に通う飯塚さん。「みんなで奏でるのはとても楽しいです♪自分の勉強にもなります」と、せっせと皆の上達を手助けしています。

昨年末は2回目となるミニコンサートを大生病院通所リハビリで開催。職員が楽しく取り組んでいることを利用者様や患者様にも喜んでいただけたとうれしく思います。ウクレレの優しいまろやかな音色が憩いとなり和となつて、仕事や生活にも張り合いが生まれています♪



amazon ロッカーが設置されています

大生病院の正面ロータリーに面した一角と、あさひ病院正面玄関脇の2か所にAmazonロッカーが設置されています。共に病院の敷地内ですが、地域の皆様にもお気軽にご利用できる場所です。ご自宅で置き配も選択できますが、ちょっと不安と思う方もいるかもしれません。そんな時、24時間受け取りが出来るロッカーは便利です。お買物に是非ご利用ください。



通所リハビリテーション「愛」
家族体験会開催
一緒に楽しくトレーニング



通所リハビリテーション「愛」は、短時間で運動を行う運動特化型のデイケアです。運動特化型となり5年目、ご利用者の生活へ繋がるリハビリを提供しています。今年度は新たな取り組みにも挑戦しています。5月に行った智光山バラ園ツアーに続き、第二弾として、9月に「通所リハビリ家族体験会」を行ないました。これは、利用者様の家族に、普段、提供しているリハビリプログラムを体験していただく企画です。

当日は10組のご家族が参加されました。まずは、ここでは身体の準備体操をして、トレーニングの始まりです。次に定期的に実施している体力測定をご家族に行なっていただき、理学療法士より測定結果の説明を行ないました。平均値を上回って

いると聞き、笑顔のご家族もいました。マシントレーニングでは、利用者様と同じマシンに実際に乗って体を動かしていただきました。狭山市で推奨されている100歳体操は、おもりをつけて頑張りました。脳を活性化させるための脳トレでは、悩みなから、笑いながら、良い刺激へと繋がられたのではなかなかな？と思います。ご家族は見学を通して、家では見せない利用者様の一面を発見できたようです。「日頃、頑張ってるリハビリしていることがよくわかりました。」「母がこんなに専門的な運動をしているなんて知らなかった。」などの意見をいただきました。また、「愛」のリハビリ運動を体験し、内容に満足いただけたようで、「トレーニング機器が充実して、筋トレの内容が理解出来ました。」などのお話もうかがえました。

運動のあとは、栄養科による手作りおやつで一休憩♪ほどうい甘さの和菓子。最後に、利用者様、ご家族、そして職員が交流できる場として、小グループに分かれお話を行ないました。限られた時間ではありましたが、「他の家族の考えや意見が聞けて嬉しかった。」「職員に親しみを感じた。」「もっとお話ししたかった。」などと交流を楽しまれた声を聴かせていただいています。利用者様とご家族が、一緒に体験を楽しむ姿を見られたことは、私たち職員にとつて、大変貴重な経験でした。利用者様が、ご家族や親しい人達と自分らしく生活することの大切さを実感できました。その生活をサポートすることが、私たち「通所リハビリ愛」の役割なのだと思います。これからも、様々なことに挑戦し「こころと身体が元気になるリハビリ」を目指してまいります。

CSR 尚寿会 group の活動報告

尚寿会 group では、地域社会貢献活動に力を入れて取り組んでいます。現在病院内で排出される鉄やアルミの事業系廃棄物の一部や、職員の家庭で出る飲み終わったアルミ缶などを収集し、再生可能資源として市内回収事業者の株式会社テンスク様（狭山市狭山44-9）に引き取っていただき、市内の子ども食堂支援の原資にしています。

塵も積もれば山となるという言葉のように、小さな鉄くずでもコツコツと集めれば大きな額となり、食品や食材を購入し寄贈することが出来ます。活動に賛同する職員が継続的に協力してくれていることで、地域社会との共生に向けた活動の大きな弾みとなっています。

今号の取材先であるメンチ屋大橋のご主人大橋様より、商品の一部を子ども食堂に寄附したいとお申し出をいただきました。本紙「しんあい」のバックナンバーをご覧になり、子ども食堂支援に参加したいとお考えになったとのことでした。「しんあい」が支援の輪を広げるきっかけとなったことに、とても嬉しくてやりがいを感じられた出来事でした。



尚寿会美容医療

4月開始予定



身近でアットホームな環境で
ハリと潤いある人生を支えたい



**美容医療を
立ち上げた経緯**

これまで私たちは、皮膚科で治療を行う一方、保険診療ができないお肌の悩みにはお応えすることができませんでした。当院の目標でもある「患者一人ひとりの幸せを重視した医療」を考えたとき、健康で若々しく美しい素肌を守ることは大きな意味があります。

そこで私たちは、美容医療をスタートすることにしました。きれいになりたい、美しくありたいと願う

● 美容医療だけの空間を用意

大生病院に併設されていますが、美容医療を受ける患者様専用の特化した空間で受付からお支払いまでが完了します。

● 当院の特徴

気持ちに、安心の医療で応えたい。変身ではなく変化で心に彩りをもたらし、前へ踏み出す勇気の一助になりたい。そのために、気軽に立ち寄れる身近な美容医療を目指します。

● 悩みに寄り添うカウンセリング

医師によるカウンセリング及び診察で症状や状況をj確認します。ご不安や気になることがあれば、ご遠慮なくご相談ください。

● アットホームだから気軽に通院

性別や世代を問わず、より多くの皆さまに美容医療を身近に感じていただけるよう、スタッフ一同、笑顔でお迎えいたします。

使用機器



Nordlys シミ・肌質改善に

IPLとして国内初の皮膚色素性疾患および欠陥病変のための光治療器として薬事承認取得した米国キャンデラ社製のNordlys (ノーリス)を完備。IPL光を照射し熱変性により過剰なメラニン色素を穏やかに除去します。表在性色素斑(シミ)や毛細血管拡張症(赤ら顔)の治療に適しています。



Gentle Max Pro 脱毛

当院では厚生労働省の医療機器承認を取得した米国キャンデラ社製のGentle Max Pro(ジェントルマックスプロ)を完備。ロングパルスアレキサンドライトレーザーとヤグレーザーの波長を使い分け、毛根周辺の組織にダメージを与え長期間における減毛(脱毛)を行うことができる脱毛機器です。

あさひ病院主催の認知症カフェ

オレンジカフェのどこで
こころ休まるひと時をすごしませんか



オレンジカフェ(認知症カフェ)とは、認知症のある方とご家族様、近隣地域の皆様、専門職スタッフが集い、安心して楽しいひと時を過ごし、情報交換や相談ができる場です。わが国の「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」に基づき、「認知症共生社会の実現」に向けて、2015年から全国の市町村に普及が進められてきました。認知症があってもなくても、住み慣れた地域で「その人らしい暮らし」を継続するための取り

組みですので、認知症の有無や年齢にかかわらず、どなたでもご参加いただくことができます。

あさひ病院が主催する「オレンジカフェのどこか」では、こころ休まる「のどか」なひと時をお過ごしいただけるながら、認知症にかかわるお悩みや心配ごとにお答えしております。ご自宅での過ごし方や認知症のある方への接し方、医療・福祉サービスについて、日常のちょっとした嬉しかったことや困ったことの雑談など、お話し内容は様々です。

また認知症にかかわる医療・介護関係者のための「ちょこっと相談室」も同時に開催しています。認知症看護認定看護師、精神保健福祉士、作業療法士など認知症疾患医療センターの専門職スタッフが、認知症の方のケアやご家族様の支援などのご相談をお受けしています。



オレンジカフェのどこか

日時：毎月第2金曜日の10時～11時30分
※2024年4月から毎月第2水曜日に変更になります

場所：あさひ病院1階

参加費は無料で、事前のご予約も不要です。時間内は自由に入退室していただくことが可能です。



お問い合わせ：あさひ病院
リハビリ科 池田、三浦
電話：04-2957-1010